

第5回 建設業と農林水産業の連携シンポジウム 「人口減少とグリーン化にどう向き合うか」

日時 令和5年2月6日(月) 13:00~15:00
主催 農林水産省、建設トップランナー倶楽部
開催 オンライン開催 (ZOOM ウェビナー)

定員 500名 (オンライン)
参加費 無料
申込方法 下記のフォームからお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S16560632/>

建設トップランナー倶楽部ホームページからもお申し込みいただけます。

<https://www.kentop.org/>



開催趣旨

日本は本格的な人口減少時代に突入した。総人口ピークの2008年以降、十数年にわたり緩やかに減少してきたが、2021年には年間63万の人口が減り、減少スピードが加速している。人口減少の影響は、過疎地で顕著であり、過疎地の主要産業である農林水産業と建設業の担い手をどう確保するかが、大きな課題となっている。地球温暖化に伴う気象災害の激化や地形の改変は明らかで、脱炭素社会、気候変動適応社会、自然共生社会、循環型社会など、グリーン化への対応も待ったなしである。

これまで建設トップランナー倶楽部は、限られた担い手で地域を支えるため、グリーン化に対応するため、様々な取り組みを行ってきた。例えば、デジタル化・自動化、林建協働、農福連携、建設業と農林業の多能工化、建設業と農林水産業の複業、省エネ・再エネ、リサイクル等である。本シンポジウムでは、「人口減少とグリーン化にどう向き合うか」をテーマに、建設トップランナー企業の取り組みを紹介し、対応策について議論したい。

プログラム

【13時00分-13時15分】 挨拶

主催挨拶 農林水産事務次官

横山 紳

来賓挨拶 農林中金総合研究所理事長

皆川芳嗣

趣旨説明 建設トップランナー倶楽部代表幹事

米田雅子

【13時15分-14時15分】 事例発表 各15分

1 仙台アクアイグニスと脱炭素のイチゴ工場

深松組社長

深松 努

宮城県

2 次世代型いちご栽培・米粉食品・カフェ(仮)

小野組社長

小野貴史

新潟県

3 隠岐島の建設業と農林水産業の連携(仮)

吉崎工務店社長

吉崎英一郎

島根県

4 苗木づくりで循環型社会をめざす(仮)

管野組社長

管野浩太郎

北海道

【14時15分-14時30分】 アドバイザー講評 各5分

農林水産省 農村振興局 整備部長

青山健治

林野庁 森林整備部長

小坂善太郎

国土交通省 大臣官房 技術審議官

佐藤寿延

【14時30分-14時55分】 ディスカッション

事例1、2、3、4の発表者

アドバイザー3名

コーディネータ 建設トップランナー倶楽部代表幹事

米田雅子

【14時55分-15時00分】

閉会挨拶 林野庁長官

織田 央

【問い合わせ先】 建設トップランナー倶楽部 事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階 米田事務所内 中川寛子, 大里茂登子

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463 Mail: info@kentop.org ホームページ: <http://www.kentop.org/>